

【結果報告(速報)】 新型コロナウイルス感染症の 影響についてのアンケート —保護者・ご家族の皆さんから寄せられた声—

国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部
発達障害情報・支援センター
2020年9月 4日 発行
2020年9月10日 一部修正

アンケート調査へのご協力 ありがとうございました

500名の方から回答をいただきました

今回のアンケートでは、発達障害の人たちが、
新型コロナウイルス感染症の拡大によって、どのような影響を受けているのか、
保護者・ご家族からの回答を通して調べました。

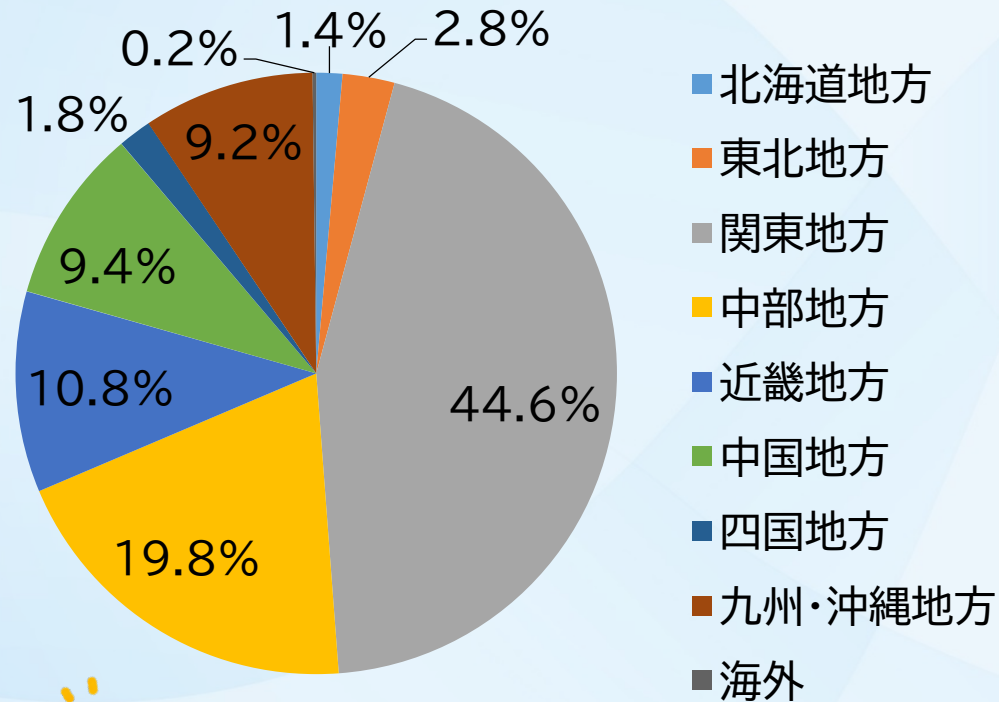
これまでの生活が一変し、それぞれのご家庭が大変な状況の中、
アンケートにご協力をいただきまして、ありがとうございました。

今回の報告は、[速報]ということで、
アンケートを単純集計した結果をのせています。

計500名

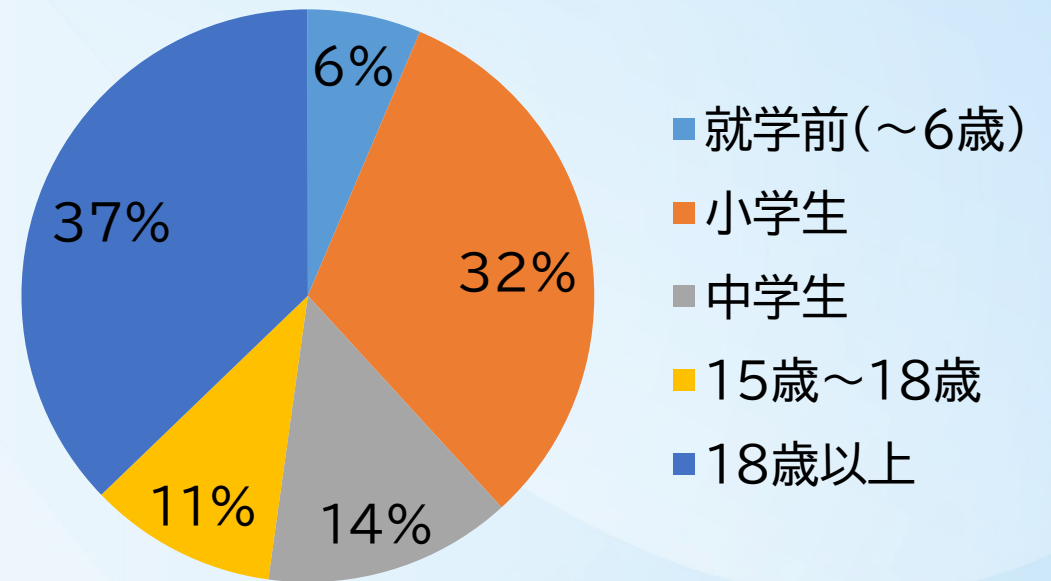
ご本人の基本情報 ①

住んでいる地域



関東地方、中部地方の人が
多かったです

年齢別

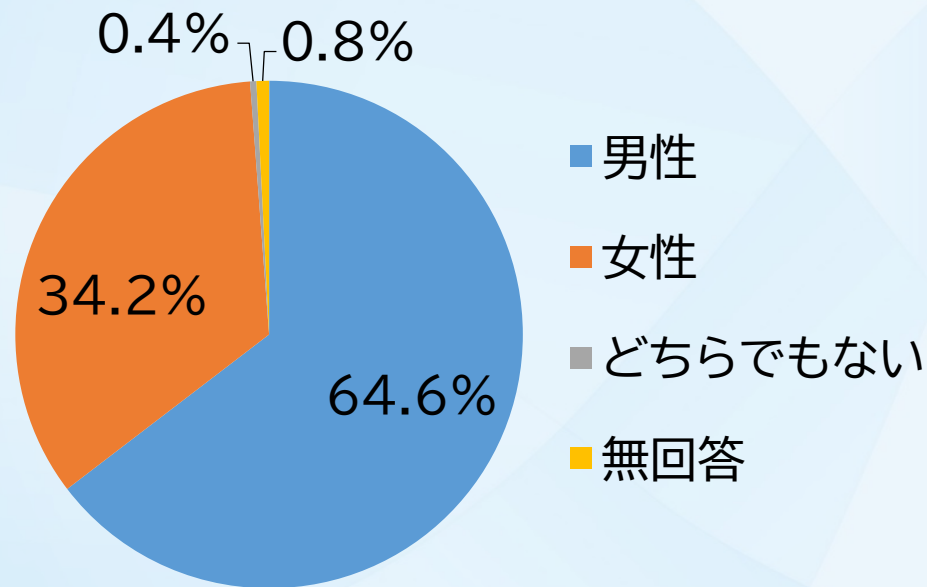


ご本人の年代は、18歳以上、
小学生が多かったです

計500名

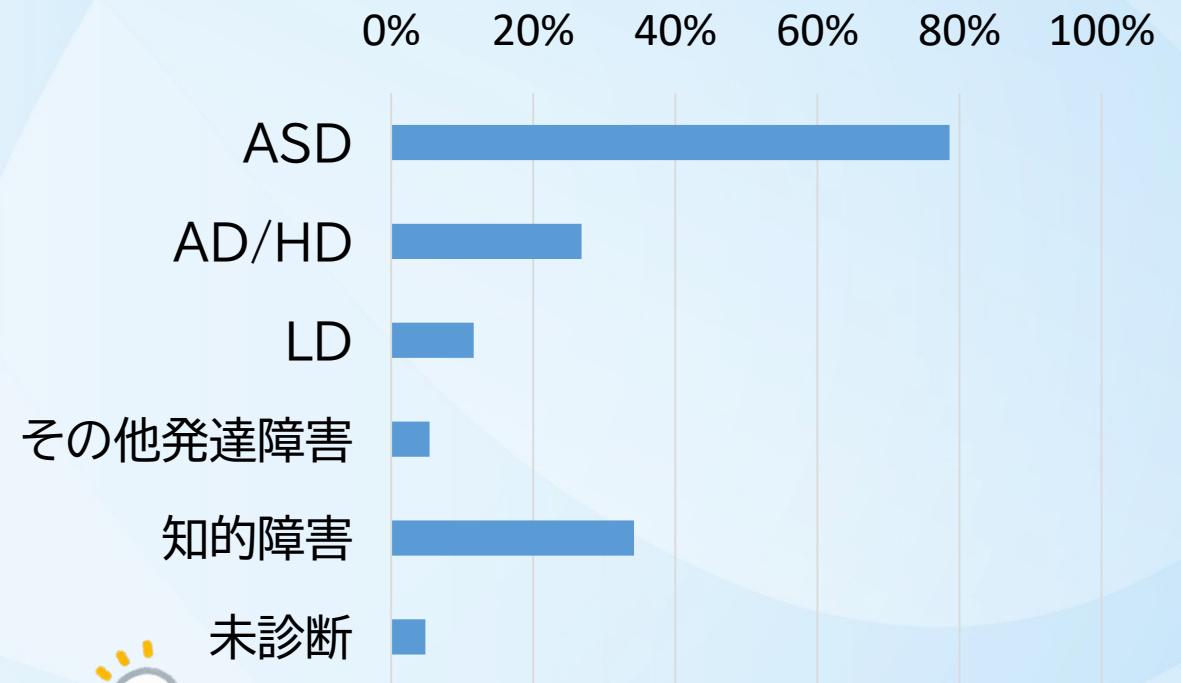
ご本人の基本情報 ②

性別



ご本人の性別は、
男性が6割以上でした

診断名別



ASD(自閉スペクトラム症)の人が
最も多かったです

I. <新しい生活様式> に関すること

新型コロナウイルスにうつらない／うつさないために、
<新しい生活様式> への取り組みが進められています

取り組みの中で、発達障害のあるお子さん・ご家族が
困ったこと、大変だったこと、ご本人の様子などについて、
保護者・ご家族の皆さんに答えていただきました

<新しい生活様式>に取り組む中で、 ご本人が困っていることは何ですか？

〔回答が多かったもの〕

1. 熱中症を防ぐために「周りに人がいない場所ではマスクをはずして良い」と伝えているが、うまく判断できないようだ(48%)
2. これまでのように行きたい場所に行けなくなり、イライラしているようだ(48%)
3. 「人との十分なきより」がどのくらいが適当か、目印がない場所だと戸惑っているようだ(36%)
4. 感染予防のための手洗いが、どのくらい(回数や時間)が適当なのか、判断がむずかしいようだ(32%)

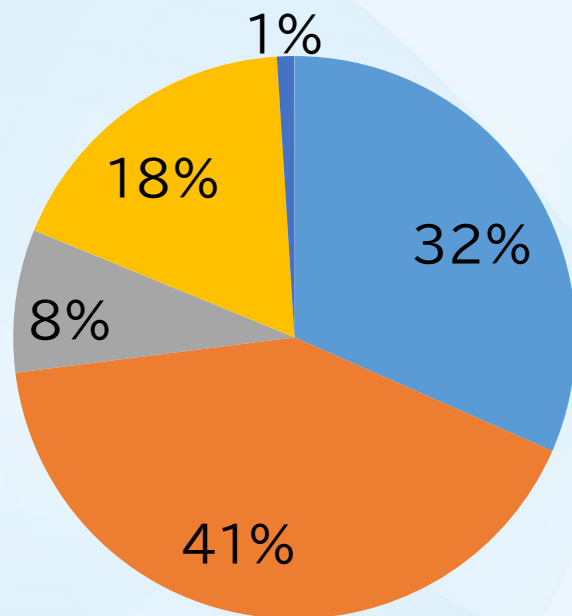


新しい生活習慣への戸惑いや、精神的な負担を
感じている人が多くいることがわかりました



感染予防※について、ご本人はどの程度理解していますか？

※手洗いやマスクをしなければいけないこと、三密をさけることなど

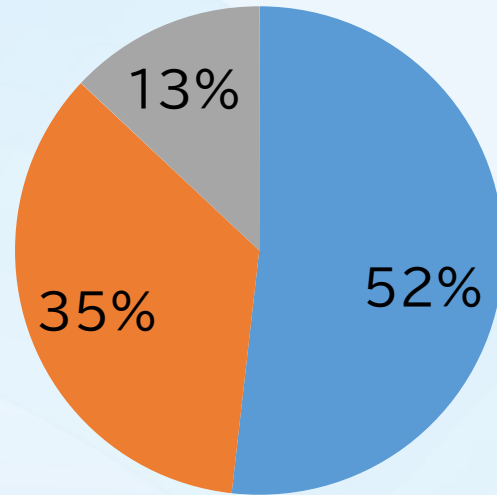


- よく理解しているようだ
- ある程度は理解しているようだ
- あまり理解できていないようだ
- 理解することはむずかしいようだ
- その他

感染予防について理解している人は**7割ほど**
理解がむずかしい人も**3割弱**いることがわかりました



ご本人はマスクの着用はできていますか？



- 抵抗なくマスクをしている
- がまんして、マスクをしている
- マスクをすることがむずかしい



「がまんして、マスクをしている」「マスクをすることがむずかしい」理由

- ✓ 感覚過敏で、マスクが肌にふれることが不快なようだ
(マスクの着用が不快で、イライラする様子も見られる)
- ✓ マスク自体の臭いや、マスクの中の臭いが不快なようだ
- ✓ マスクを着ける必要性の理解がむずかしく、すぐ外してしまう
- ✓ 「マスクは風邪の時に着けるもの」などのこだわりがある など



**触覚(肌)などの過敏によって、
マスクをすることに困り感をもつ
人が多くいることがわかりました**

マスクをしている時の ご本人の状況を教えてください

【回答が多かったもの】

1. ご本人自身や相手がマスクをしていても、特に問題はないようだ(41%)
2. 相手がマスクをしていると、ふだんより、何を言われているのか理解するのに時間がかかるようだ(24%)
3. 相手がマスクをしていることで聞き取りづらそうな時があるが、聞き返すことがむずかしいようだ(18%)
4. 相手がマスクをしていると、よく知っている人の顔がわからなくなるようだ(13%)
5. 相手がマスクをしていると、相手の表情がわからず、不安になるようだ(13%)



マスクによって、さまざまなコミュニケーションの
難しさが生じていることがわかりました

<新しい生活様式>に取り組む中で、 ご本人が過ごしやすいよう工夫した点

〔自由記述より抜粋〕

- ✓ 感覚過敏のため、本人がつけ心地が良いマスクを手作りした
- ✓ マスクは色々な生地・形状のものを試した
- ✓ マスクをつける場所／外す場所と一緒に確認したり、教材を使って本人に理解してもらった
- ✓ マスクを落としてもパニックにならないよう、予備のものを持たせた
- ✓ 公園など、人が少ない場所に行くように心がけた
- ✓ ストレスをためないよう、場所を選んで出かけたり、活動量を増やすようにした
- ✓ 視覚的に分かりやすい素材を使って、感染予防(マスクをつける理由など)について説明した
- ✓ スケジュールを示すなど、見通しを持って過ごせるようにした
- ✓ 消毒液やマスクは、本人が使いやすいよう置き場所や導線を工夫した
- ✓ タイマーや教材を使って、手洗いを練習した



マスクの素材・形状が本人に合うものを探した／手作りした
という声がとても多かったです



<新しい生活様式>が始まり、 ご本人にとって良かったこと・楽になったこと

〔自由記述より抜粋〕

- ✓ お店では、並ぶ位置など、視覚表示が増えてわかりやすくなった
- ✓ お店や病院など、ソーシャルディスタンスで人との距離ができ、快適になったよう
- ✓ 在宅勤務で人と接触する機会が減り、楽になったよう
- ✓ 学校の欠席を気にせず過ごすことができ、ストレスが減ったよう
- ✓ 家でゆっくり過ごせて、本人にとっては良い時間だったよう
- ✓ 学校行事(集団活動)が減り、おだやかに過ごせるようになった
- ✓ 遠隔授業のおかげで、自宅の快適な環境で学習できるようになり、よかった
- ✓ 通学・通勤がなくなり、心身ともに楽になったよう



外出しなくてもよくなったことで心身のストレスが減ったり、
環境が変わって、生活しやすくなった人がいることもわかりました



Ⅱ. 最近の状況と、 これからの生活について

新型コロナウイルス感染症の拡大による社会生活への影響は
今後もしばらく続くと言われています

最近のご本人の状況と、保護者・ご家族の皆さん自身の
これからの生活について答えていただきました

最近のご本人の状況を教えてください

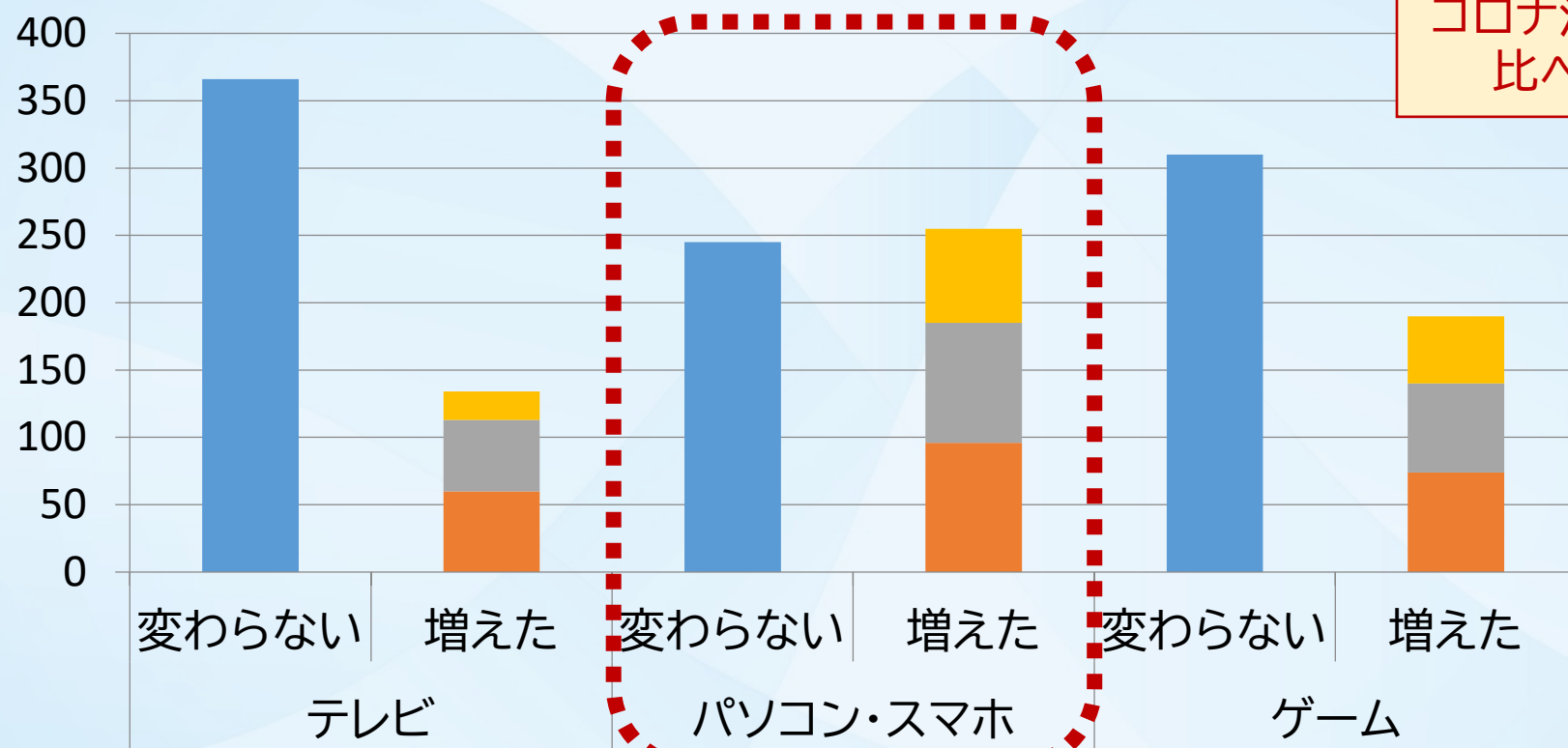
【回答が多かったもの】

1. 怒りっぽくなった・イライラしやすくなった／気分の浮き沈みが大きくなった(38%)
2. 睡眠の問題が増えた(寝つきの悪さ、寝起きの悪さ、途中で目を覚ます、普段より早く目をさます、昼夜逆転など)(29%)
3. 特に変わったことはない(27%)
4. 家族とのトラブル(親子／兄弟)が増えた(23%)
5. 通学するのがきつそうになった(遅刻が増えた、時々休むようになった、登校しぶり)(18%)



これまでの生活が大きく変化したことで、
心身の不調を感じている人が多くいることがわかりました

テレビ、パソコン・スマホ、ゲームをしていた時間



パソコン・スマホをする時間が増えた人が多くいました
(テレワークやオンライン授業の視聴時間も含まれている可能性があります)

これからの生活について あなた(保護者・ご家族)の状態や気持ちを 教えてください

〔回答が多かったもの〕

1. 感染予防に気をつけながら、趣味の時間や人とのつながりを大切にしてもらいたい(57%)
2. いつまでこの状態(コロナを気にかけながらの生活)が続くのか、とても不安／気持ちが落ち込む(49%)
3. これからも当分、外出や人と関わることは避けたい(自分)／避けさせたい(家族)(33%)
4. コロナの影響により、子どもが対人関係や心理面の問題を抱えるのではないか、心配である(32%)
5. 「自分や家族がコロナに感染したらどうしよう」と、とても不安だ(ほとんど毎日そのことを考えてしまう、いても立ってもいられない気持ちになる)(22%)



今後の生活や、お子さんへの影響を心配されている人が多い一方、
趣味や人とのつながりを大切にしてほしいと考えている人も半数以上いました

その他にも、多数の意見(自由記述)をいただきました

マスクなどの感染対策ができない
事情を、周囲に理解してほしい

発達障害の人が感染対策を
身につけるための方法を
教えてほしい

本人が精神的に不安定になり、
その対応に家族が苦労した

オンライン化が進むことで、
生きづらさが減る人がある
ことを知ってほしい

本人・家族がコロナに感染した場合、
治療や入院、本人の預け先、
付き添いなどはどうなるのか…
見通しが持てなくて不安、情報がほしい

たくさんの貴重なご意見をいただき、
ありがとうございました



おわりに

アンケート結果(速報)を最後までご覧いただき、ありがとうございました。

＜新しい生活様式＞への取り組みが始まり、
発達障害のご本人や保護者・ご家族の皆さんが、
どのような困りや変化を感じているのか、知ることができました。

今回のアンケートでは、自由記述によるご意見も
たくさんいただきました。

今後、こうした自由記述部分もくわしく分析し、
ホームページ上でご報告する予定です。

<http://www.rehab.go.jp/ddis/>